

平成 26 年 10 月 22 日

国際総合科学部

国際文化創造コース 4 年

学籍番号:110076

氏名:遠藤桃子

第 3 章 戦後の時期のグローバルな文脈のなかのヨーロッパ

◇東アジア

◇近東と北アフリカ

◇グローバルな解体と結合

・戦後の時期

: アメリカ、ラテンアメリカ、サハラ以南のアフリカ

・・・「変革のない普通の時期」

⇔ヨーロッパ、東アジア、南アジア、近東

・・・「危機と変革の時代」

◇東アジア

・戦後の時期に発展

: ヨーロッパの戦後と類似する 5 点

1, 「崩壊」

2, 「苦境」

3, 「新たな始まり」

4, 「分割」

5, 「記憶」

1, 「崩壊」

: 東アジアは日本の支配下に

1895 年~台湾 植民地化

1910 年~朝鮮 植民地化

1932 年 満州国 設立

1941 年~フランス領インドシナ、オランダ領インドシナ、
イギリス領マラヤ、アメリカ領フィリピン 征服

・・・日本の敗戦 支配下の地域の決定権はアメリカ・ソ連へ

2, 「苦境」

: 戦争の傷跡

・多くの犠牲者

・交通・農村への損害

・食糧難・住宅不足

・捕虜、引き上げ兵士の帰路

3, 「新たな始まり」

: ・日本は敗戦→アメリカの支配下に

1947 年 日本国憲法施行

議会主義的君主制導入

国家的社会保障の根本的改革

最低生活水準の導入

子供、障害者、失業者、労働災害犠牲者の社会的保障

・中国は共産主義政権の権力掌握後、

1949 年~ ソ連をモデルに経済、社会の大転換

5 年計画施行

国家的社会福祉事業施行

国家的公衆衛生業務施行

学校制度導入

重工業の建設 → 農業の集団化

4, 「分割」

: ヨーロッパ「鉄のカーテン」

東アジア 中国と朝鮮の間に「比較可能な競争」

5, 「記憶」

: ・第二次世界大戦の記憶

ヨーロッパ…死者数 5000 万人、ホロコースト 壊滅的

⇔ 東アジア…組織的殺害はない

→ドイツほど世界的に道徳的信用は失墜していない

一方で、

東アジアにおける冷戦期は「血なまぐさい」

e.g) 中国の毛沢東主義政権による農業の集団化

- ・大土地所有者の土地の没収
- ・農村大土地所有者、富農の策害(訳 100 万人)
- ・都市経済の国有化
- ・都市部市民階級や知識人の排除
- ・刑務所の設立 など…

朝鮮戦争(米ソの代理戦争)

・日本の降伏、植民地の没収…世界的な影響はない

⇔ヨーロッパの植民地帝国の没落…世界史的な断絶

戦後ヨーロッパの経済危機

…高度に工業化が進み世界貿易を担っていたグローバルな経済の衰退

・統合が出来なかった東アジア

…対立する戦争の記憶による分裂 宗教, 体制による対立

→超国家的な経済統合は難しかった

◇近東と北アフリカ

1940年代後半…大変革の時期

二次大戦中は重要な作戦地域

：イギリス・自由フランス所有

イラン、イラク、シリア、エジプト、アルジェリア

戦後は供給の悪さを食糧難に苦しむ

- ・脱植民地化
- ・諸独立国家の誕生　　の鍵となる時代！

*背景

- ：・戦争被害はヨーロッパに比べ少ない
- ・冷戦、体制、宗教等による根強い対立がない
- ・地域的なまとまりへの意識
 - …1945年　アラブ連盟の設立
 - （経済統合による平和確保を目的とするものではない）

→ 東アジアは、復興・冷戦の時期
ヨーロッパ、近東は新しい方向への転換の時期

◇グローバルな解体と結合

- ：戦後ヨーロッパのグローバルな結合は矛盾しながら進展する
- 退却…新たな超大国アメリカ・ソ連との関係への退却
- ヨーロッパ自身の内部への退却
- 進展…新たな移住・植民地政策による海外との結びつき

戦後の脱植民地化

戦後の「決定的な一時期」…数年間にわたる大々的な植民地解放

- ・南アジアにおけるイギリス植民地の解放
- ・1945年 北ヴェトナムの自治
- ・1946年 アメリカ植民地・インドネシアの非植民地化
- ・1947年 直轄植民地インドの終焉
- ・1947年 パキスタン解放
- ・1948年 スリランカ解放
- ・1948年 イギリス植民地・ビルマの独立
- ・1949年 カンボジア、ラオスの自治

〈その背景〉

- ：・第二次世界大戦によるヨーロッパの植民地列強の脆弱性が露呈
列強は労働力(兵士)・軍事力(武器)共に植民地に頼らざるを得なかった
- ・第3のアクター “アメリカ” の植民地側支援
かつての「植民」側としての立場から
e.g)1941年 大西洋憲章(アメリカの創作による)
…国際援護字によるヨーロッパ植民地の管理が定まる

ヨーロッパの経済的孤立

- ：・戦後の交通システム破壊による貿易高・グローバル資本の減少
- ・通信の収縮
- ・移民の波(アメリカ大陸への移動、故郷への追求、亡命など)
⇔ナチズムによって追放されていた亡命者たち・植民地生活者の帰還
→新たな結合を生む
かつての生活地における価値観や生活スタイルを汲む

独立した植民地は、

- ：エリート層はかつての宗主国の生活スタイル・文化を踏襲する

国際連合・グローバル民間組織の誕生

- ：国際連合…ヨーロッパにおける中立諸国、西側諸国がグローバルな影響力を
発揮できる舞台に

民間組織…赤十字国際委員会など

→世界的な学術専門組織でヨーロッパ人が活躍

ヨーロッパにおけるグローバルな結合は

- ：・植民地所有時代に構築された経済関係は破壊される
- ・ヨーロッパ人の“古典的な優越感”